

平成27年度 朝霞地区福祉会事業報告

1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来39年間、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めて参りました。

平成27年度においても、「みつばすみれ学園」、「すずらん」の障害児・者の2施設をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の2園を受託運営するとともに、朝霞市の指定管理者として特別養護老人ホーム「朝光苑」等の管理運営、受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

福祉会を取り巻く環境変化への対応

障害児・者支援、子ども子育て支援、高齢者福祉のいずれにおいても、利用者のニーズはますます変化、多様化してきており、一方、サービス提供のしくみも、社会の要請により、改革が進められております。福祉会としては、しくみの変化へのスムーズな適応、及び、利用者ニーズへの柔軟な対応に努め、その結果、効果的な利用促進が図れた取組も行うことができました。しかし、解決途上の課題も多く、ニーズの的確な把握、対応の検討を一層進める必要があります。

法人設立40周年

平成28年2月7日に朝霞地区福祉会設立40周年記念大会を開催し、総数522人の方々にご参加いただきました。また、大会を通して福祉会の今後のあるべき姿、方向性について考え、地域に発信することが出来ました。さらに、地域の関係団体95箇所への事業者訪問を通し、他施設に関する現状の認識と繋がりを深めることが出来ました。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

開催回数	開催日等	
3回開催	第133回	5月29日
	第134回	8月27日
	第135回	28年3月23日

(2) 評議員会

開催回数	開催日等	
2回開催	第1回	5月25日
	第2回	28年3月18日

3 監事による監査

開催回数	開催内容等	
3回開催	決算監査	5月7日 対象：全施設
	中間監査	11月26日 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
		12月8日 対象：和光市ほんちょう保育園、和光市にいくら保育園、朝光苑

4 各種試験

(1) 職員採用試験

募集職種	試験内容	試験日	試験結果
保育士	面接	平成27年10月8日	応募者：2人 合格者：2人 (H27.11月、12月採用)
生活支援員、保育士、 介護職員	論文 面接	平成28年1月30日	応募者：11人 合格者：5人 (H28.4月採用)

(2) 職員昇任試験

試験名	試験内容	試験日	試験結果
主幹級昇任試験	論文	平成28年2月19日	応募者：4人 合格者：1人
	面接	平成28年2月26日	
主査級昇任試験	論文	平成28年2月18日	応募者：16人 合格者：4人
	面接	平成28年2月25日	

5 職員数

(平成28年3月31日現在／単位：人)

施設名	事務局長 施設長	事務員			保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員		看護職員		栄養士	児童発達支援責任者 サビ管理責任者 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士等			合計	
		正	正	パート	正	パート	正	パート		正	正	パート	正	パート
本部事務局	1	2	1(1.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1(1.0)	
みつばすみれ学園	1	1	—	6	12(8.3)	1	—	—	2	4(2.8)	11	16(11.1)		
すずらん	1	1	—	8	16(12.1)	1	—	—	1	—	12	16(12.1)		
ほんちよう保育園	1	1	—	9	23(16.0)	1	—	※2	—	—	12	23(16.0)		
にいくら保育園	1	※1	—	13	26(17.1)	1	—	1	—	—	16	26(17.1)		
朝光苑	1	3	2(2.0)	25	18(14.3)	4	3(3.0)	1	8	3(2.0)	42	26(21.3)		
合計	6	8	3(3.0)	61	95(67.8)	8	3(3.0)	2	11	7(4.8)	96	108(78.6)		

※1 ほんちよう保育園兼務

※2 にいくら保育園兼務

注1 正：正規職員

注2 ()は常勤換算の人数

平成27年度 みつばすみれ学園事業報告

1 事業の概要

平成27年度の事業計画において、次の2点を目標に掲げ、みつばすみれ学園の運営を行って参りました。

療育支援体制の充実

①施設利用希望者の利用機会を増大する

通所利用を希望する児童を全員受け入れることに努め、利用児童数は140人(昨年度115人)を数えました。しかし、利用率は昨年度の82.9%から77.3%となっております。これについては、2歳児の通園日数(昨年度週4日)を安全性や療育の質の確保から週2日通園にしたこと、140人のうち73人が他施設との併行利用児(基本的に週に1日の通園)であったこと、また、年度中に60人の入所、55人の退所があり出入りが多くあったことが影響していると考えております。

なお、利用率(予算より0.3%増)は低下しましたが、土・日曜日実施の父親学級や運動会行事の振り替え休園(3日間)を廃止したことや報酬改定などから、収入面では、予算より93万円の増収になりました。

②専門性の高いサービスを提供する

児童発達支援センターとしての療育の質の向上を図るため、作業療法士(OT)と言語聴覚士(ST)の導入による個別・集団療育での支援、また、専門職や職員の研究発表の場として職場内研修の充実に取り組み、児童支援へ質の向上を図ることが出来ていると考えております。

地域支援の強化

併行利用児の通所先との交流を心掛けたほか、県からの委託事業である「子供の発達支援巡回事業」と「障害児等療育支援事業」とを実施し、地域支援の一翼を担って参りました。

また、学園が持つ社会資源を関係機関はもちろんのこと、研修や学習の場として提供することが出来ました。

なお、新規事業として、「指定障害児相談支援事業及び指定特定計画相談支援事業(みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター)」と県からの委託事業として「発達障害地域療育センター事業(南西部地域療育センター)」を開設し、その運営を軌道に乗せることが出来ました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(2月1回)理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ)交流保育(朝霞市=北朝霞保育園・さくら保育園、志木市=北美保育園)
4月	クラス懇談会
5月	児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
6月	児童検便(ぎょう虫卵検査)
7月	七夕、父親学級
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、園外プール、夏祭り(すずらんと合同開催)

9月	ミッキーマウス&ミニーマウス来園、祖父母参観
10月	運動会(宗岡第三小体育館)、クラス懇談会
11月	児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
12月	もちつき会、クリスマス会
1月	父親学級
2月	豆まき、発表会
3月	お別れ会、卒園式

(2) 相談・会議等

相談等	①療育相談/来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
会議等	①療育支援連絡会議(朝霞市・志木市・和光市) ②ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ③通園バス運行会議、給食検討会議
他機関等との交流	①埼玉県(発達障害者支援体制整備検討委員会)、朝霞・志木・和光市の関係会議(要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議、自立支援協議会、介護給付費等支給審査会等)へ出席 ②和光特別支援学校評議員会議へ出席 ③見学・実習、中学生職業体験(朝霞第一中、朝霞第二中、宗岡中、宗岡二中)の受入れ ④地域の作品展等へ出展(太陽展、志木市総合福祉センターまつり、向陽祭、チャレンジド作品展等) ⑤施設便りの発行・配布(月1回)

3 利用状況

児童在籍状況(契約児童)

(月初在籍数:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	合計
朝霞市	34	46	44	42	43	43	43	41	42	41	41	42	502
志木市	15	23	23	24	24	25	26	27	26	26	28	27	294
和光市	31	38	40	40	39	40	39	40	40	40	40	41	468
合計	80	107	107	106	106	108	108	108	108	107	109	110	1,264
入所者数	27	2	5	2	3	5	5	4	0	3	3	1	60
退所者数	0	2	6	2	1	5	5	4	1	1	2	26	55

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金) ※印はすずらんととの折半額

—敬称略—

期日	寄附者	金額
08/22(夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員児童委員協議会	5,000円 ※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円 ※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円 ※
H28.01/21	第一生命労働組合池袋総合営業職支部	10,000円
03/31	栗原友介(嘱託医報酬分)	500,196円
合計	5件	525,196円

(2) ボランティアの受入れ

行事	夏祭り/運動会/もちつき会/クリスマス会	12団体162人/個人9人
通年	(保育・製作・付添い児) : 個人(13人)	206人

(3) 見学研修等受入れと職員派遣

	件名	実施日数	機 関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	5日	4機関	6人
	学園療育についての見学と体験	18日	18機関	40人
	学園利用児の様子観察	9日	9機関	13人
	次年度就学児・移行児の様子観察	3日	3機関	4人
	学園見学(入園希望者、電話相談など)	127日	—	127人
	学生の受入(中学生職業体験、卒業論文など)	36日	5機関	75人
派遣	育成保育検討会・審査会	2日	2機関	2人
	育成保育対象児の様子観察	2日	3機関	3人
	フォローアップの援助	12日	1機関	12人
	在園・退園児などケースカンファレンス	7日	3機関	4人

(4) 実習受入れ

ア 介護等体験実習 3学校 延べ 3人
 イ 社会福祉施設実習 10学校 延べ10人 合計：延べ13学校 延べ13人

5 子供の発達支援巡回相談事業実績

(延べ箇所数)

	朝霞市	志木市	和光市	新座市	合 計
保育園	9	0	0	0	9
幼稚園	0	9	0	6	15
子育て支援センター	3	0	3	3	9
合 計	12	9	3	9	33

6 障害児等療育支援事業実績 (療育相談利用状況)

(延べ回数)

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療 育	検 診			
朝霞市	0	0	26	12	0	20	58	21
志木市	11	0	18	0	0	15	44	34
和光市	0	0	28	0	0	19	47	31
新座市	0	0	0	0	0	3	3	0
その他	0	0	1	0	0	5	6	0
合 計	11	0	73	12	0	62	158	86
	11		85					

7 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

(1) 対応件数(初回アセスメント件数)

※8月から、相談支援専門員が2人体制となる

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
朝霞市	3	2	1	7	2	6	5	6	4	2	3	6	47
志木市	1	4	4	3	6	9	2	3	8	10	6	4	60
和光市	0	1	3	1	0	3	3	5	0	0	4	3	23
合 計	4	7	8	11	8	18	10	14	12	12	13	13	130

(2) 計画案作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画案提出	1	3	10	11	9	9	19	13	12	14	13	31	145
本計画提出	0	1	10	9	11	10	14	11	12	17	8	22	125
モニタリング報告書	0	0	0	0	0	3	5	8	10	5	9	18	58

8 南西部地域療育センターの実績

(1) 事業開始日：平成27年6月22日

(2) 定員：100人(12月21日に定員の100人となる)

(3) 配置専門職：臨床心理士、言語聴覚士

(4) 連絡件数：

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
連絡件数 合計	＝	＝	30	35	17	36	17	24	21	15	11	11	217
初回面接	＝	＝	12	28	3	17	21	6	16	12	0	1	116
個別療育	＝	＝	0	0	3	20	22	30	39	51	55	71	291

※個別療育実人員=84人

(5) 家族支援：①保護者サロン開催：4回 ②保護者向け学習会開催：1回

平成27年度 すずらん事業報告

1 事業の概要

平成27年度事業計画に基づき、以下の目標を中心に運営を実施して参りました。

利用される施設となる

生活介護事業の利用を望む方、特別支援学校卒業生の進路先として、出来るだけ多くの利用をしていただけるよう努めました。平成27年度当初、利用登録者は56人でしたが、途中退所が4人有り、下半期は52人となり、全体の利用率は94.5%、前年度比4.2%の増加となりました。これにつきましては、利用者の身体状況等の変化に起因する入院、体調不良等による欠席は有りますが、障害の特性や家庭状況等により、送迎バス通所が難しいケースについては、個別送迎の体制を強化する事に努め、更に家庭との連絡調整により、利用滞在時間の柔軟な対応等、利用促進の取り組みを行った結果ではないかと考えられます。

利用者一人ひとりの目標を実現する

当所が作成する利用者個別支援計画の見直しを図り、その内容や様式についても利用者、家族が理解しやすいものへと変更をいたしました。また、身体機能維持と体力低下防止のため、所内活動のみならず、積極的に外出活動を行い、車椅子使用者及び重度者においても、その心身の状況に合わせ、散歩や外気浴の取り組みを増やし、自然や外気に触れることで健康増進の計画の向上を図り、リハビリテーションにおいては新たに作業療法の観点を導入し、支援の幅を広げる取り組みを行いました。

この支援計画書との連動性がある、相談支援事業所からのサービス等利用計画書の他、保護者によるセルフプランの状況もあり、今後も関係機関及び家族との連絡と情報交換を密接とし、適切な支援計画の作成を行っていくことが今後の課題となっております。

この他に、年に3回行っている保護者と施設間連絡会の企画で、実際に利用者の支援状況及び作業風景を参観していただいた他、利用に関するアンケートを実施し、ニーズ調査の充足に努めて参りました。主に活動内容の充実や、利用形態及び滞在時間等の希望が多くあり、利用者と家族の生活背景を考慮し、改めて状況に応じた柔軟な対応をしていくことが求められていることと思われまます。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(それぞれの誕生日に実施)、地震・火災避難訓練、身体測定、製作品販売、音楽療法(隔月)、ティータイム、クラブ活動(年11回)、健康診断等 内科・精神科・整形外科・理学、作業療法(週1回)
4月	出発式、歯科検診
5月	端午の節句、運動会(宗岡第三小学校体育館)
6月	検便(ぎょう虫卵検査・腸内細菌検査)
7月	七夕
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、夏祭り(みつばすみれ学園と合同開催)
9月	ミッキーマウス&ミニマウス来園、ぶどう狩り、定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
10月	ハイキング、人権フェスティバル参加(伊奈町総合センター)、検便(ぎょう虫卵検査・腸内細菌検査)
11月	すずらん祭り
12月	もちつき会、クリスマス忘年会
1月	初詣、書き初め
2月	豆まき、法人設立40周年記念大会への参加、和民食事会

3月	カラオケ演芸大会
通年	希望制小旅行(年間13回 延べ42人)／ラウンドワン朝霞・大宮ステラタウン・葛西臨海水族館・びん沼公園・智光山公園・原宿アルタ・竹下通り散策・川越城本丸御殿・三井アウトレット入間・グ`リコピ`アイースト・さいたま水族館・ららぽーと富士見・コクーンシティ)

(2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(随時) ⑦保護者と施設間連絡会議(年3回) ⑧衛生委員会 ⑨身体拘束廃止/事故防止委員会 ⑩医療的ケア委員会
関係機関会議	①関係市担当者と施設間連絡会議(年3回) ②4市医療職ネットワーク会議(年4回)

3 利用状況

(1) 市別在籍状況(契約利用者数)

(月初在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	合計
朝霞市	12	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	161
志木市	30	31	31	30	30	30	30	30	30	30	30	30	362
和光市	9	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	112
合計	51	56	55	54	53	53	53	52	52	52	52	52	635
入所者数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
退所者数	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4

(2) 障害程度別内訳

(H27.4.1現在：人)

療育手帳 所持者	療育手帳 のみの者	身体障害者手帳を併せ持つ者						合計	
		1種1級	1種2級	1種4級	2種2級	2種4級	2種5級		
Ⓐ	44	16	15	8	1	1	1	2	28
A	6	5	1	0	0	0	0	0	1
B	4	3	0	0	0	0	0	1	1
無し	2	0	2	0	0	0	0	0	2
合計	56	24	18	8	1	1	1	3	32

※車椅子使用者18人、付き添い歩行17人、全盲1人

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金)

※印はみつばすみれ学園との折半額

—敬称略—

期日	寄附者	金額
5/16(運動会)	和光ライオンズクラブ	5,000円
8/21(夏祭り)	朝霞市北部地区民生委員児童委員協議会	5,000円※
	朝霞ライオンズクラブ	5,000円※
	柴崎健司(だんご販売の売上金)	5,000円※
11/7(すずらん祭り)	和光ライオンズクラブ	5,000円
	志木ライオンズクラブ	10,000円
12/28	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円
(H28)2/7(法人設立40周年記念大会)	小澤一輝	5,000円
合計	8件	290,098円

(2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施、 志木市商工会「かっぱふれあい館」出店、宮戸橋作品等販売(年6回)
6/28	朝光苑まつり 作品販売
10/31	すわ緑風園祭り展示(施設紹介と作品展示)
12/2～9	障害者週間：和光市チャレンジド展示
12/2～9	障害者週間：朝霞市役所ロビー(施設紹介と作品展示)
12/6	志木市障害者理解促進事業：丸井ふれあいプラザホール作品販売
(H28) 2/4	利用者部会(埼玉県発達障害福祉協会)参加
3/5～6	志木市総合福祉センターまつり 展示と作品販売

(3) 実習生受入れ

産業現場実習	延べ 55日	3 校	延べ 15人	所沢おおぞら・和光・和光南特別支援学校
中学生職業体験	延べ 9日	3 校	延べ 24人	志木中・朝霞一中・朝霞三中
保育士養成実習	延べ 33日	3 人	延べ 33人	秋草学園短期大学

(4) 施設見学者(関係機関)

7/6	NPO法人キラキラ理事 3 人	8/6	和光特別支援学校教員 5 人
8/7	志木市インターンシップ	8/14	志木市インターンシップ

(5) ボランティア受入れ

通 年(茶道・組ひも・畑)	個人(3人)	延べ 74人	5/16 (運動会)	個人(10人)	延べ10人
8/22 (夏祭り)	7団体(92人)、個人(2人)	延べ 94人	11/7(すずらん祭り)	個人(8人)	延べ 8人
12/4 (もちつき)	1団体(20人)	延べ 20人	3/11(カラオケ演芸大会)	個人(2人)	延べ 2人

(6) その他

年11回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)
------	-----------------------------------

平成27年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

1 事業の概要

平成27年度事業計画に基づき、以下の取り組みを中心に運営を実施して参りました。

健やかな成長の取り組み

子ども達の個性や個人差を把握しながら、乳児期においては、同じ顔ぶれの職員を配置し、安心できる環境作りに努めて行きました。幼児期においては、異年齢の縦割りグループ活動や年齢クラスの関わりの中で、自分の気持ちを伝え相手の気持ちを知る事など、将来に向けたより良い人間関係が築けることを願って取り組みました。

豊かな感性の育み

本園では、音楽表現において身近な楽器を使い音に親しむことを基本に、幼児期はリズム打ちを行うなど、音で表現することに親しむことができました。運動プログラムでは、基本的な運動の獲得は基より、できない事を頑張る姿勢や達成感を得ることで自信を持つなど、精神面での育みにもなりました。食育では、畑作り、野菜栽培を通して、食べたい気持ちを培ったり、鮭の解体の実演体験から命を頂くことの大切さを学ぶことができました。

地域との連携

就学を迎える5歳児において、小学校や保育クラブとの交流を通し、教員と個々の子どもについての情報交換を行いながら、互いに理解しスムーズな移行を目的として取り組みました。日常的に課題をもつ子の保育においては、巡回相談など専門機関との連携を図り、保護者においても園での様子を伝え、個々の発達や状況に応じた保育を行って参りました。

保護者支援・地域支援

保育参加など、保護者が保育士体験として園での生活を経験することは、大変好評で、父親の参加も増えてきました。地域においての園開放事業「あそぼう会」は、園内での親子の体験などを通し、親子遊びを楽しんだり、子育てに関する情報などを獲得し、リピーターの多い事業になっています。

育成一時保育については、登録人数は変わりありませんが、他施設と併行利用の子ども居ることから、希望日に利用がしやすくなってきました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

毎月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、消防署立会訓練（1回）、防犯対策訓練（3回実施、県警防犯指導1回、実技指導）、誕生会、身体測定（毎月実施）、事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会会議、園だより、クラスだより、献立表、三色食品群の献立、ほけんだより
4月	地域交流事業園開放（育児相談ほか）受入れ保育、5歳児親子遠足
5月	4歳児親子遠足、全クラス懇談会、保育参加
6月	ありがとうの日、防犯対策訓練、お泊まり保育
7月	保育園運営委員会、七夕、じゃがいも掘り、わっこまつり、流しそうめん
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（朝霞市）
9月	大規模地震を想定した児童引き取り訓練、十五夜、おじいちゃんおばあちゃんの日
10月	運動会
11月	2・3歳児親子ふれあい会、5歳児懇談会、焼き芋、勤労感謝の日（公共機関へのお礼）、サンマの塩焼き

12月	発表会、クリスマス会
1月	もちつき会、2歳児懇談会、0・1歳児懇親会
2月	節分、保育園運営委員会
3月	ひなまつり、卒園式、入園前面談、卒園思い出遠足

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、歯科検診（6月）、乳児健診（隔月）、ぎょう虫検査（6月）、尿検査（11月）
- ・ 手洗い指導、歯磨き指導（看護師） 対象／3・4・5歳児
- ・ 巡回相談（6月、2月 臨床心理士による対象児童の観察と助言）
- ・ 3～5歳児の異年齢グループ活動（散歩、集団遊び、製作、調理保育、ごっこ遊び）

(3) 地域交流事業

- ・ あそぼう会（園の開放）／年18回、利用親子延べ人数224人
- ・ 行事招待／わっこまつり（卒園児、地域住民）、運動会（卒園児、地域住民）
焼き芋会・もちつき会（あそぼう会親子、保護者）
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動／4月、9月、1月
- ・ 和光市図書館図書団体貸し出し利用
- ・ 本町保育クラブと5歳児との交流
- ・ 地域高齢者の喫茶サロン（市のウェルカム事業）と5歳児との交流
- ・ 茶道（5歳児対象）
- ・ 絵本とお話の会（5月～28年2月・9回）

(4) 特別保育事業

- ・ 保育参加（5／25～7／31）21人、（9／2～10／30）42人

(5) 世代間交流

- ・ 敬老の日におじいちゃん、おばあちゃんを招待／4・5歳児
- ・ 朝光苑デイサービスセンター交流（2回）、本町喫茶サロン交流（3回）／5歳児

(6) 実習生・ボランティアの受入れなど

- ・ 保育実習生 4校：5人
- ・ 看護実習生 3人
- ・ 裁判所調査官研修 4人
- ・ 和光市新任教員研修 1人
- ・ 職業体験 3校：8人（大和中、和光第二中、和光高校）
- ・ ボランティア 36人
- ・ 入園前事前見学 60人

3 利用状況

(1) 児童在籍状況

月初日在籍児童数

(単位：人)

対象 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14
2歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
3歳児	20	19	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21
4歳児	19	19	20	20	20	20	20	19	19	20	20	20
5歳児	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
合計	98	97	98	98	98	99	99	98	98	99	98	98

平均利用率	∴ 99.0%	土曜日平均利用者数	∴ 11.7人
-------	---------	-----------	---------

(2) 育成一時保育事業

(単位：人)

人数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	合計
登録人数	22	23	24	24	24	24	24	24	24	25	25	25	—
利用延人数	50	48	58	61	51	41	53	46	44	48	50	58	608

平成27年度 和光市にいくら保育園事業報告

1 事業の概要

平成27年度事業計画に基づき、以下の目標を中心に運営を実施して参りました。

異年齢保育の成果を高め課題を解消する

平成27年度は4グループ編成での異年齢保育の取り組みになって2年目となり、課題として2つ挙げて取り組みました。

1つめの「年齢に応じた発達支援」については、日々の生活の中でも年齢に応じた役割を持って当番を行うほか、週1回の年齢別活動日を設定し、その中で年齢による発達の差が大きく出やすい「絵画」や「運動」の取り組みを中心に行うようにし、日々の活動内容を整理しました。

また、「5歳児と保護者の入学に向けた支援」については、他児が午睡をしている時間を利用し、5歳児だけで着席して集中して行う活動などを取り入れ、保護者には、運動会の保護者競技を年齢別対抗にしたり、懇談会で小グループに分かれたフリートークの時間を設定するなど、保護者が集まる機会に顔見知りになれるような場面を意識して取り入れました。

食育の効果を高める

食育の取り組みの一環として取り組んでいる畑の活動は、保護者からも協力をいただき、野菜を育て収穫しました。また、近隣の畑での収穫体験（玉ねぎ、じゃがいも、大根）も実施しました。保存食づくりでは、前年度に年長児がやっている様子を見ていたことを思い出し、楽しみにしている児童もいました。収穫したものや季節に合わせた食材を使った調理保育で、食材への関心も深まりました。

保護者支援・地域支援

在園の保護者に保育園を知っていただく機会として設定している保育参加は、毎年少しずつ参加者が増えてきました。また地域に向けた園開故事業（あそぼう会）への参加者は、前年度と同じくらいの人数でした。特に繰り返し参加される方は、積極的に保育士に話しかけ、気軽な相談の場として利用される傾向がありました。予約制のミニ講座は、「食事」や「子どもの病気」、「言葉の発達」など、子育ての身近な話題をテーマにして7回実施し、延べ65組の親子にご参加いただきました。保育園の入園希望の見学者が多い状況が続き、年間で68人の見学者を受け入れました。その中に出産前の見学希望者が7人いました。

発達に課題を持つ児童への支援

27年度は3人の育成保育対象児が在園しました。児童それぞれに発達や健康面での課題がありました。担当職員が外部研修に参加して知識を深め、園内で共有するように努めました。個々の支援計画に合わせた支援を提供し、児童の健やかな成長を園全体で目指しました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）、消防署等立会訓練（火災1回、防犯1回）、布団乾燥、市内保育園関係会議（事業者連絡会議、研修委員会、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進会議） 園だより「そよかぜ」、クラス・グループだより、保健だより「げんきっこ」（各12回発行）、献立表（毎月発行）
4月	進級式、懇談会（0歳～2歳）、園外保育（5歳児）
5月	懇談会（3、4、5歳）、園庭で遊ぼう会（1、2歳）、

	園外保育（4歳児）
6月	カレーの会（3、4、5歳児）、保育園運営委員会
7月	お泊り保育（5歳児）
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（4、5歳児）、学童クラブ交流（新倉）
9月	児童引取り訓練、世代間交流
10月	運動会
11月	芋煮会（3、4、5歳児）
12月	発表会（3、4、5歳児）、もちつき会
1月	小学校交流（新倉小学校、北原小学校）、保育園運営委員会
2月	懇談会（0歳～5歳）
3月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会

（2）児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月：尿検査も合わせて実施）
- ・ 乳児健診（5月～28年3月の隔月、3月は新入園予定乳児も含む）
- ・ 歯科検診 6月、ぎょう虫卵検査 6月
- ・ 巡回相談（6月、2月 臨床心理士による対象児童の観察と助言）

（3）地域交流事業

- ・ 園開放（5月～28年2月・毎週火曜日）26回実施・延べ参加親子189組
- ・ ミニ講座（園開放の毎月最終週に予約制で実施）7回実施・延べ参加親子65組
- ・ 和光病院交流（4歳児・3回実施 ※雨天・感染症の流行などで中止有）
- ・ 和光市 福祉の里交流（5歳児・4回実施 ※雨天・感染症の流行などで中止有）
- ・ 絵本の読み聞かせ（ボランティア「ひまわりクラブ」8月を除く月1回）

（4）その他の保育事業

- ・ 年末保育（12/29 9人、12/30 6人）
- ・ 親子支援教室「クローバーグループ」毎月1回実施・全10回（4、1月は除く）
- ・ 保育参加（5/18～1/29延べ参加人数99人）

（5）実習生・ボランティアなどの受け入れ

- ・ 保育士実習 7校・9人（東洋大学・貞静学園短大・埼玉学園大学・東京福祉専門学校・国学院大学・大原学園・東京成徳短大）
 - ・ 和光市立小中学校初任者教員研修 2日間：1人
 - ・ 司法研修所家庭裁判所調査官見学実習 2日間：4人
 - ・ 中学生・高校生体験学習 延べ15人（大和中・和光第2中・和光第3中・和光高校）
 - ・ 体験ボランティア等 延べ26人
 - ・ ファミリーサポート会員体験実習 2日間：4人
 - ・ 育児支援員体験実習 2日間：1人
- ※ 見学の受け入れ（入園前の事前見学）68人

3 利用状況

月初日在籍児童数（育成児童／4歳児2人、5歳児1人 計3人） （単位：人）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月
0歳児	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
2歳児	24	24	24	24	24	23	24	24	24	24	24	24
3歳児	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
4歳児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
5歳児	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26
計	135	135	136	136	136	135	136	136	136	135	135	135

平均在籍率	：	123.2%	土曜日平均利用者数	：	20.3人
-------	---	--------	-----------	---	-------

平成27年度 朝光苑事業報告

1 事業の概要

平成27年度の事業計画において、3つの事業目標をたて運営を行いました。

利用される施設となる（利用率の向上）

特養では、4月当初入所待機者148名あり、平成14年の申し込み者もいることから、実態把握を目的として、平成26年度までの申し込み待機者99名を対象に、入所意向調査を実施しました。その結果、死亡や他施設への入所での取り下げ、連絡なし、宛先不明が48%、入所はもっと先で良いが24%、すぐ入所希望は28%（27名）で、この内、要介護3以上の該当者は、17名でした。そして、平成27年度新規の申込みは42名あり、当苑への入所は5名、検討中6名、取り下げ11名、もっと先で良いが3名、その他（医療管理中、他市保険者、要介護2など）が17名でした。

さらに、これらを整理したところ、3月末での待機者は58名で、その内訳はもっと先で良い24名、他市保険者12名、当苑での受け入れ困難（医療処置有や多床室対応困難）10名で、すぐに入所に繋がりそうな方は12名という実態が分かりました。今後は、利用率向上に向けて、待機者の定期的な近況把握、新規申込者の早めの実態把握、病院の医療連携室との連携など、入所者探しの活動が必要となります。

デイサービスセンターでは、認知症介護実践研修を受講し、認知症高齢者や中重度者のケア体制を図ったことにより、介護報酬の加算を取得し、収入に反映させることが出来ました。

地域ケア会議における設定目標を達成する

地域包括支援センターが主催した、個別ケースの支援内容の検討を目的とした地域ケア会議（個別ケース）は、6事例を8回開催しました。また、市が主催した、地域課題の検討を目的とした地域ケア会議勉強会は4回開催されました。

人材育成システムを構築する

介護職員処遇改善の要件としてキャリアパス（長期的な職務の道や展望）の構築が掲げられていることから、「キャリアパス&研修計画を考えるワーキンググループ」を設置し、ワークショップ、職員アンケート調査を実施しました。そして、「職員が将来に夢を持ち、働きつづけることができる朝光苑」を目的に掲げ、人材育成計画を作成することが出来ました。

2 各事業の実施状況

(1) 介護老人福祉施設事業

ア 主な年間事業

月例事業	誕生会、注文買物、店屋物の日、音楽療法、理髪、嘱託医健診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)
4月	お花見散歩、料理クラブ
5月	菖蒲湯、端午の節句、ショッピング
6月	料理クラブ
7月	七夕、地震避難訓練、ショッピング、上の原町内会夏祭り参加
8月	料理クラブ、彩夏祭花火見学
9月	秋遊祭、火災避難訓練、ぶどう狩り（小泉ぶどう園）
10月	胸部レントゲン撮影、インフルエンザ予防接種、苑外活動（和光樹林公園）、料理クラブ、向陽園祭作品展示
12月	年末お楽しみ会(ご家族参加)、ゆず湯、料理クラブ、火災避難訓練
1月	正月遊び、書初め

2月	豆まき
3月	ひな祭り

イ 利用状況（平成28年3月31日現在）

（ア）入退所の状況（単位：人）

	現入所者			入退所者数	
	男	女	計	入所	退所
合計	21	46	67	15	21

（イ）在籍状況（単位：人）

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初		73	73	72	72	71	69	69	69	71	69	69	65	*
入所者		0	1	0	1	2	2	1	2	1	1	0	4	15
退所者		0	2	0	2	4	2	1	0	3	1	4	2	21

※年間利用率：89.9%

（ウ）介護度別構成

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数（人）	1	6	13	21	26	67
割合（%）	1.5	9.0	19.4	31.3	38.8	100

※平均要介護度：3.97

ウ 外部協力・援助等

（ア）ボランティア受け入れ

① 団体 3団体

すずらんグループ、虹の会、楽脳体操

② 個人 20人

③ 活動内容 ※延べ人数＝833人 月平均＝69.4人

（レクリエーション活動）書道クラブ、詩吟クラブ、大正琴クラブ、踊り、体操、ギター演奏、ピアノ演奏

（生活支援活動）シーツ交換、おむつたたみ、洗濯物たたみ、縫い物、車椅子清掃、散歩の付添い、行事手伝い

（イ）地域との交流

① 交流／朝霞ボーイズガールズスカウト、朝霞第一中学校生徒七夕飾り、野田ピアノ、コーラスとフラダンス、向陽園ふれあいの集い作品展、朝霞第一中学校、クリスマス合唱交流会

② 体験ボランティア／社協ワークキャンプ

③ 体験研修／朝霞市役所新任職員

④ 職業体験／朝霞第一・三・五中学校生徒

（ウ）実習受け入れ

朝霞准看護学校、東京福祉保育専門学校、教員特例法介護体験（県社協）、十文字学園女子大学 計：22人

(エ) 面会者数

延べ人数	1日平均人数
6,523人	17.8人

(2) 短期入所生活介護事業 (単位:人) 目標:利用率90.0%

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者		35	27	26	28	27	26	29	25	32	28	29	27	339
延べ人数		372	291	285	308	269	260	262	231	274	224	254	284	3314

※1日平均利用者数:9.1人(定員14人) ※年間利用率:64.7%

(3) デイサービスセンター事業

ア 主な年間事業

月例事業	誕生会、PTリハビリ、体重測定												
4月	お花見						10月	秋の味覚(サンマ焼き)					
6月	梅ジュース作り						12月	年末お楽しみ会					
7月	スイカ割り						1月	もちつき					
9月	外出リハビリ(ブドウ狩り)						3月	お花見					

イ 利用状況 (単位:人) 目標:利用率82.0%

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者		62	62	64	64	64	68	74	71	68	68	70	68	803
延べ利用者人数		481	455	478	542	511	510	582	484	477	480	492	543	6,035

※開所日/299日 1日平均利用者数/20.2人(定員25人)

※平均利用率/80.7%

ウ 外部協力・援助等

(ア) ボランティア受け入れ

	回数	活動内容
個人	延べ46回(5人)	書道、踊り、音楽活動、フルート演奏
団体	延べ30回(3団体)	レモンの木(マッサージ)、すずらんグループ(行事介助)、十六酔会(落語)

(イ) 地域との交流

朝霞市栄町保育園(2回)、朝霞ひだまりの森保育園、朝霞第一中学校フェスティバル

(ウ) 法人内世代間交流

みつばすみれ学園(2回)、和光市ほんちょう保育園

(4) 居宅介護支援事業

ア 利用状況 (単位:件) 目標:ケアプラン作成件数(※)960件

人数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数※		72	70	68	67	71	73	78	79	81	79	80	80	898
介護予防支援件数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
認定調査件数		0	3	2	3	3	4	4	2	2	2	3	2	30

※1日平均利用者数:9.1人(定員14人) ※年間利用率:64.7%

(5) 地域包括支援センター事業

ア 主な事業

- ① 総合相談・支援業務：地域支え合いネット講座
- ② 権利擁護業務：認知症サポーター養成講座
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメント業務：ケアマネージャー支援講座
- ④ 介護予防ケアマネジメント業務：要支援者のケアプラン作成

イ 利用状況（単位：件）

目標：ケアプラン作成件数（※）1,260件

件数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数※		133	129	136	133	134	136	137	136	136	130	132	124	1,596
二次予防対象者介護予防支援件数		13	1	0	0	12	12	0	2	2	0	0	16	58
住宅改修理由書作成件数		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3

3 会議・委員会

(1) 会議

① 苑運営会議（月1回）、② 全体会議（年2回）、③ 各部署（デイ・居宅・地域包括）会議（月1回）、④ 特養ラインカンファレンス（年18回）

(2) 委員会

① 優先入所検討委員会（月1回）、② 苦情解決委員会（年1回）、③ 感染症対策委員会（年4回）、④ 事故防止対策委員会（年4回）、⑤ 身体拘束廃止委員会（年4回）、⑥ 給食委員会（年6回）、⑦ 安全委員会（痰吸引）（年4回）、⑧ 褥瘡対策検討委員会（年4回）、⑨ 衛生委員会（月1回） *①②は外部委員含む